

備前市名誉市民

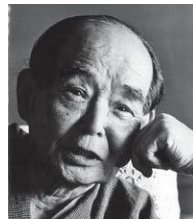
(推戴順…敬称略)

○藤原 啓(敬二) (1899年～1983年)

昭和50(1975)年12月12日推戴

備前焼作家 穂浪

備前焼第2代人間国宝(昭和45年指定)



閑谷学校卒業後、文学を志して上京しますが、夢破れ昭和12年郷里に帰り三村陶景、金重陶陽の指導で備前焼の道に入りました。その作品は鎌倉・室町時代の雑器にみられる力強さ、豪放さ、軽妙さに溢れています。

○中村 才八 (1907年～2000年)

昭和56(1981)年4月25日推戴

元備前商工会議所会頭等 伊部



昭和25年、中村窯業株式会社代表取締役社長となり耐火煉瓦一筋に生きました。耐火煉瓦協会理事、副会長を歴任するとともに、備前焼陶友会を組織し備前焼業界の発展に貢献。教育委員長として教育行政にも貢献しました。また、社会福祉協議会会長、特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会会長を務め、福祉、青少年教育にも貢献しました。

○山本 陶秀(政雄) (1906年～1994年)

平成3(1991)年4月6日推戴

備前焼作家 伊部

備前焼第3代人間国宝(昭和62年指定)

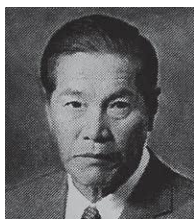


大正11年陶芸界に入り、昭和13年楠部弥一に師事しました。昭和45年日本工芸会理事に就任後、岡山県文化賞、三木記念賞、紫綬褒章、紺綬褒章、勲四等瑞宝章などを受けました。昭和51年から東京と大阪で開かれた茶陶シリーズでの茶陶作家としての地位を不動のものとします。作品は優れた轆轤技術に裏付けされ、優雅端正で気品があります。

○青木 熊雄 (1902年～1986年)

平成7(1995)年3月19日推戴

元日生町商工会会長等 日生町日生



昭和13年1月、現在の(株)ヨイタイ日生工場完成以後、豊かな才能をいかんなく発揮し、取締役社長、取締役会長を歴任。また、日生町商工会会長や日生町観光協会会長などとしても存分にその敏腕を発揮しました。

○森下 精一 (1904年～1978年)

平成7(1995)年3月19日推戴

元日生町議会議員等 日生町日生

森下(株)を業界屈指の製網会社として発展させました。また、町議会議員として12年10カ月町行政に参画。日生信用金庫理事長、備前商工会議所議員などの要職を歴任するとともに、私材を投じて財団



法人森下美術館(現・BIZ EN中南米美術館)を創立しました。

○森谷 新一 (1903年～1978年)

平成7(1995)年3月19日推戴

元衆議院議員 日生町日生



朝鮮に渡り昭和2年に朝鮮に電灯事業を起こしました。昭和8年から日生町議、昭和15年から町長に就任。全国に先駆け米の切符販売を行いました。また、企業誘致、国道建設などを行いました。昭和17年に衆議院議員に当選し活躍しました。

○那須 仁九朗 (1896年～1988年)

平成7(1995)年3月19日推戴

元日本商工倶楽部理事長等 日生町寒河



16歳で上京し、一から商法について学び、その才覚と努力で数々の会社を創設。鉄塔協会会長として会を公益法人に改組しました。また、日本商工倶楽部理事長として会の発展に尽力され、中小企業振興育成基金を設定し、成果を上げました。

○南 正人（1919年～2000年）

平成7（1995）年3月19日推戴

元日生町長 西片上



日生町収入役、助役として
通算21年もの間歴代町長を補
佐。昭和45年11月日生町長に
就任し、4期16年の長きにわ
たり住民本位の行政と誠実公
平さを政治信条に豊富な経験と卓越した見識を持つ
て日生町発展に多大の貢献をしました。

○藤原 雄（1932年～2001年）

平成18（2006）年10月24日推戴

備前焼作家 穂浪



備前焼第4代人間国宝（平成8年指定）

藤原啓の長男。明治大学を
卒業と同時に陶芸の道に進み
ました。社交性に富み海外に
も進出、備前焼を広めました。
豪快な壺が得意で、レリーフ
も広島原爆記念館や備前市役所前など、10を超える
作品を遺しています。

○寺崎 和男（1928年～）

平成22（2010）年1月4日推戴

元備前商工会議所名誉会頭等 友延



昭和41年来、長く備前商工
会議所各要職、同会頭として
運営に携わり、その豊かな人
間性と指導力で商工業の活性
化と地域経済の発展に取り組
み、名誉会頭としても社会貢献を続けました。また、

（協）備前焼陶友会理事長としても「備前焼」ブラ
ンドの確立に大きく寄与しました。

○伊勢崎 淳（惇）（1936年～）

平成22（2010）年1月4日推戴

備前焼作家 伊部



備前焼第5代人間国宝（平成16年指定）

細工物を得意とし、特に大
型の陶像を数多く作った伊勢
崎陽山の二男。備前焼レリー
フ作家の代表格で、首相官邸
をはじめ、旧備前市役所玄関
岡山市役所、岡山大学、就実学園、備前市総合運動
公園等に多くの作品を残しています。現代的な造形
感覚で立体的オブジェに挑戦したいと意欲を燃やし
ています。

○小長 啓一（1930年～）

令和5（2023）年10月27日推戴

元官僚、弁護士 新庄



岡山大学法文学部第1期生
として卒業後、昭和28年通商
産業省に入りました。昭和46
年田中角栄通産大臣秘書とし
て日本列島改造論を著わしま
す。その後地方大学出身者では初めての通商産業事
務次官となり、退官後はアラビヤ石油社長、日本経
団連顧問等を経て、現在、弁護士（島田法律事務所
所属）、（一財）産業人材研修センター理事長。

○大石 久和（1945年～）

令和5（2023）年10月27日推戴

元官僚 日生町大多府



昭和45年建設省入省、平成
11年道路局長、平成14年国
土交通省技監を経て、（二財）
国土技術研究センター理事長、
平成29年（公社）土木学会会
長などを歴任しました。

現在は、（一社）全日本建設技術者協会会長、（株）
オリエンタルコンサルタンツ最高顧問、国土学総合
研究所長を務めています。

○松井 與之（1931年～）

令和6（2024）年10月19日推戴

備前焼作家 西片上



岡山県指定重要無形文化財（平成8年指定）

昭和55年に日本伝統工芸中
国展・金重陶陽賞受賞して以
降、数々の賞を受賞し、備前
焼の振興と発展のために貢献
しました。

○山本 雄一（1935年～）

令和6（2024）年10月19日推戴

備前焼作家 伊部



岡山県指定重要無形文化財（平成8年指定）
昭和41年に岡山県美術展・
県展賞を受賞して以降、数々
の賞を受賞し、備前焼の振興
と発展のために貢献しました。

○島村 光（1942年～）

令和6（2024）年10月19日推戴

備前焼作家 久々井

岡山県指定重要無形文化財（平成31年指定）



平成27年に岡山県文化奨励賞を受賞して以降、数々の賞を受賞し、備前焼の振興と発展のために貢献しました。

○吉本 正（正志）（1943年～）

令和6（2024）年10月19日推戴

備前焼作家 閑谷

岡山県指定重要無形文化財（平成19年指定）



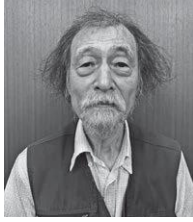
昭和55年に陶心会展・天満屋賞を受賞して以降、数々の賞を受賞し、備前焼の振興と発展のために貢献しました。

○金重 晃介（1943年～）

令和6（2024）年10月19日推戴

備前焼作家 香登本

岡山県指定重要無形文化財（平成24年指定）



昭和63年に茶の湯の造形展優秀賞を受賞して以降、数々の賞を受賞し、備前焼の振興と発展のために貢献しました。

○岡 千秋（1950年～）

令和6（2024）年10月25日推戴

作曲家 東京都



備前市日生町で生まれ、中学校卒業後に歌手を目指し、上京しました。平成22年に作曲家に転向し、昭和58年には「浪花恋しぐれ」で日本レコード大賞特別金賞を受賞しました。現在は、びせん特別観光大使としてご活躍で、備前市の市歌の作曲もしています。

○駒澤 勝（1942年～）

令和7（2025）年3月22日推戴

小児科医 伊部



平成3年に、伊部にこまざわ小児科医院を開院し、備前市の園医・学校医を務めるなど、長きにわたり市の小児医療及び福祉に貢献しました。

○荻野 健次（1946年～）

令和7（2025）年3月22日推戴

医師 岡山市



昭和55年に吉永町国民健康保険町立病院院長に就任して以降、吉永病院で勤務し、平成27年には備前市病院事業管理者に就任し、長きにわたり、備前市の医療及び福祉に貢献しました。

○原 憲一（1947年～）

令和7（2025）年3月22日推戴

RSKホールディングス㈱取締役相談役

兼山陽放送㈱相談役 岡山市



備前市東片上で生まれ、関西大学を卒業後、山陽放送株式会社に入社し、平成31年にRSKホールディングス株式会社代表取締役会長及びRSK山陽放送株式会社取締役会長に就任しました。

RSKテレビ報道部時代には、ハンセン病療養所の取材や、TBS報道局に向向した際には、湾岸戦争の取材に携わるなど、社会的報道に尽力しました。

○吉延 四郎（1936年～）

令和7（2025）年3月22日推戴

元備前商工会議所会頭 東片上



岡山県立備前高等学校卒業後、片上運輸株式会社に入社。昭和33年10月に、吉延石油店を設立しました。その後、数々の役職を歴任し、平成13年に備前商工会議所会頭に就任するなど、長きにわたり、備前市の商工振興に貢献しました。